(評価)対象年度	令和 7 年度
編成区分	9月補正
記入日	R7.7.23

第３次総合計画
実施計画事業シート

担当課	財産管理課
課長名	[redacted]
担当者	[redacted]

対象事業名(事業番号)	本庁舎上下水道改修事業	(724)

会計の選択	一般会計	ハード・ソフト・維持等の選択	ハード
新規・継続事業の選択	継続	政策評価の選択	評価対象（新規）
単独・補助・県営事業の選択	単独	重点政策（総合戦略）の選択	未計上
第３次総合計画の位置付け （体系表を確認し選択して下さい）	基本目標	1	自然豊かで快適に暮らし続けられるまち
	分野	19	公共施設マネジメント
	政策	191	維持更新に係る費用抑制と快適利用の為の保全計画
	施策	1912	安全・快適性の確保

事業期間（選択）	継続事業				継続事業の場合	7 年度 ～	9 年度	
	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	計
事業費（千円）	385	3,000	20,000					23,385
国費								0
県費								0
起債								0
その他								0
一般財源	385	3,000	20,000	0	0	0	0	23,385
交付金等名						補助率		

事業の目的 （誰を対象に、どの様なやり方で、どの様な効果をえようとしているのか）	50年を経過した本庁舎において、上下水道管の詰まり等が原因でトイレを使用不可としていることが度々あることから、上下水道設備を整備し、外来客や職員の庁舎利用が快適になるように衛生面から見直そうとするものである。 なお、下水管等が詰まる原因が不明なため事前調査を実施し、調査結果を元に実施設計、配管工事を行う予定で計画しています。
事業の概要	◆全体事業計画又は事務フロー R7年度（9月補正） 下水道管調査（管の状況調査を実施）　385,000円（見積のとおり） R8年度 実施設計　3,000,000円（概算） R9年度 本庁本館上下水道管改修工事　20,000,000円（概算） ※工事は進捗状況によっては、前倒しでR8年度も想定（可能な限り早期着工を）
	◆当年度事業計画 本館の下水道管は定期的に詰まる状況にあるが、詰まる原因等が不明であるため、管の事前調査を行い、翌年度以降の改修作業に反映させる。 （下水管詰まりと不衛生なことであるため、早期着工をするため今年度に調査を実施）
その他 特記事項	公共施設等総合管理計画（個別計画）では劣化対策を講じつつ機能を維持すると明記。改修工事は計画の見直しを行い標記を変更予定。

事業の必要性 （現状における問題点、その要因、今後の課題）	本庁舎の本館は昭和50年（1975年）、新館は平成12年（2000年）、別館は平成16年（2004年）の建築年度で、経過年数は50年、25年、21年となり、いずれも20年を超過し庁舎や設備の劣化が見られ修繕の必要性が高くなってきている。 特に本館は、上下水道設備（特に管）の劣化が著しく異物が詰まり使用不能となることが度々ある。また、下水用の排水で井水を使用しているが、一部の井水管が詰まり使用不能となることで、便器の使用も停止している状況であることから、50年を経過した本館の下水道管及び上水道設備を整備し快適な庁舎利用を衛生面から見直そうとするものである。 なお、飲料可能な上水道と排水用の井戸水とで用途を分けて使用しているが、井水で使用しているポンプは庁舎と同じく50年が経過している。ポンプ不良の際は修理不能と電気業者からは回答を得ており、緊急時は即時に井水と上水を切り替えることが出来ない状況であることから、井水を廃止し上水道のみ使用とする予定です。

2次評価	事業の方向性	●	採択	●	所管案のとおり		事業のやり方改善		事業規模拡大
					事業規模縮小		事業統廃合		その他
			不採択		企画不十分				
			一部不採択		企画不十分				
	評価理由	本庁舎については既存庁舎の継続活用方針となっている。来庁者及び職員等への影響を考慮し改修を行う必要がある。調査業務により今後相当の期間において不具合が生じないよう十分な精査を行い事業を実施すること。							